

皆さまからご支持をいただき、

4月の統一地方選挙において4期目の当選をさせていただきました。

志を新たに、私の活動スローガンである「歴史を守り、未来を創る」を胸にまい進してまいります。

府議会では、大きく4つの政策項目(行財政改革、教育の無償化、賃金の上がる経済社会づくり、議会改革)について合意の下、未来を見据えた政策の実現を目指し、

新しい会派「国民民主党・日本維新の会京都府議会議員団」を結成しました。メンバーは13名となり、京都府議会では第2勢力となります。

## 議会での所属・役職

- ・会派代表幹事
- ・総務警察常任委員会
- ・子育て環境の充実に関する特別委員会
- ・京都府議会運営委員会
- ・京都地方税機構議会

- ・関西広域連合連携協議会
- ・議会改革小委員会
- ・京都府営水道事業経営審議会
- ・京都サンガF.C.を支援する京都府議会議員連盟
- ・宇治茶振興のための議員連盟



日本経済新聞4月28日

## 6月定例会報告

### 代表質問に立つ

新しく結成された会派「国民民主党・日本維新の会京都府議会議員団(13人)」を代表して西脇知事に質問させていただきました。質問時間は51分間と今定例会での最長の時間をいただき、西脇知事の答弁との合計質疑時間は約1時間半となりました。

先ず提案されている予算案に対して、長引く物価高騰等に対応した対策の必要性、特に中小企業、小規模事業者の皆さまが求めている声をよく聞き、本当に困っている事業者に支援が届くようきめ細かな対応を求めました。

さらに、多くの社会課題の中から大きく二項目質問しました。

少子化対策(子育て政策)

部活動の地域移行について



# ① 少子化対策(子育て政策)

- ①生物学の視点で考える少子化対策のベース
- ②海外の事例から見る少子化対策のポイント
- ③京都府に求める少子化対策のこれから



## 質問・提言

いつやるの→今でしょう!

少子化対策は教育費の負担軽減や仕事と子育ての両立環境の整備に加えて、自治体や自治会単位でのコミュニティの維持に取り組むべきと考える。今後の取り組み方針は?

**西脇知事** 子育て中の方の約7割が「地域の支えが重要」と回答している。地域コミュニティは、「子育て環境日本一」の実現に向けて非常に重要な役割を担う。京都府の総合計画においても「社会全体が子育ての主体として、負担や苦勞、喜びを分かち合う」ということを将来に到達点とする。地域特徴を生かした「子育てにやさしいまちづくり」に取り組む市町村に対して、「子育てにやさしいまちづくり事後交付金」を創設し、支援している。さらに検討を進め、議会議論を経て、今年の秋ごろまでに子育て環境日本一推進戦略を改定したい。



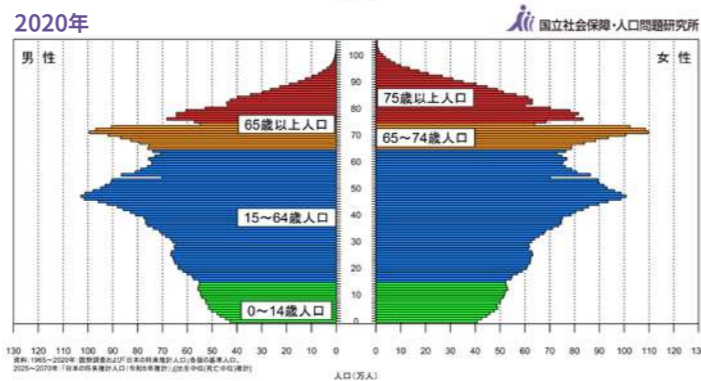
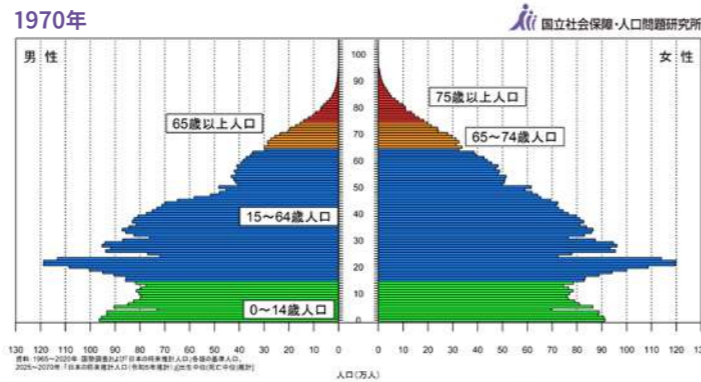
みんなで子育てグッドプラクティスコンテスト

## 少子化の現状

年齢層別人口データ  
～人口ピラミッドの変化と予測から～

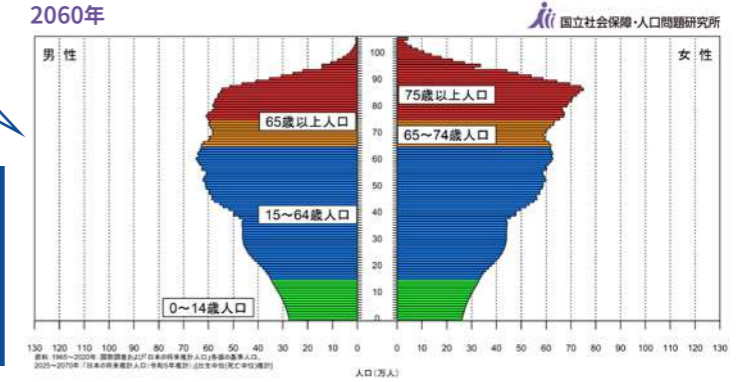
1970年の人口ピラミッドは20歳前後をピークとした三角形

2020年は70歳前後をピークとした逆三角形に近い形



国立社会保障、人口問題研究所は、2060年は全体的に人口ボリュームが少くなると予想しています。

少子化対策は30年後に成果が見られるとも評されるように、現在の政策が将来を左右します。危機感を共有し、協力して政策の創造と実現、弛まぬ政策検証と見直しに取り組まなければなりません。



## 質問・提言

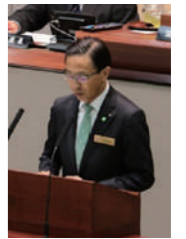
京都府オリジナルである「地域子育て環境見える化ツール」の活用、自治体、自治会等の取り組み状況と府の支援について子育て情報の発信がより対象者に届く仕組みについての考え方、ニーズを把握してプッシュ型での発信を求める。



「泣いてもかましまへん!」ステッカー

**西脇知事** 令和4年度から「子育てにやさしいまちづくりのモデル事業交付金」の採択条件に「見える化ツール」の活用を盛り込んだ。宇治市において、ツールを活用して課題を明らかにし、地域の子育て支援団体や、スポーツ関係団体、自治会などと連携した「子育て応援プラットフォーム」を立ち上げ、公園を拠点とした

まちづくりを進めており、府としても「モデル事業交付金」により支援している。子育てパスポートアプリ「まもっぷ」により、サービス情報等を発信しているが、さらに検討を進め、本年秋ごろまでに改定を予定している「子育て環境日本一推進戦略」に盛り込みたい。



# ② 部活動の地域移行について

## 質問・提言

スポーツ文化を育んできた部活動の地域移行は、学校内の教員の働き方改革の視点だけでなく、文化庁の移転先である京都が率先して、文化継承と発展の視点から「文化政策」としても取り組むべきと考えるがどうか。加えて、子ども達のニーズ(スケートボード部、eスポーツ、ブレイクダンスなど)を踏まえた体制整備の検討を求めた。

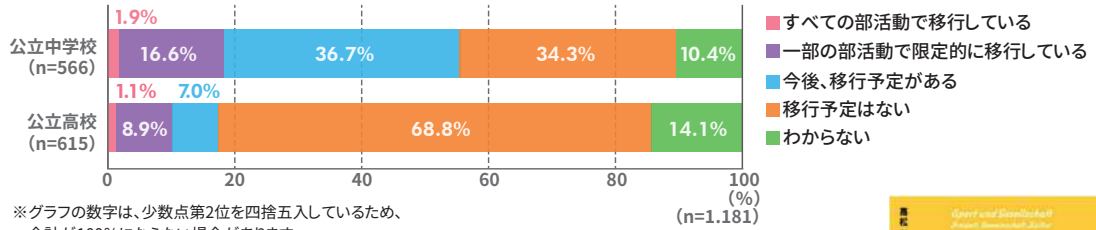


**西脇知事** スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化とされている。府教育委員会だけでなく様々な主体と連携しながら、府全体で子どもたちのスポーツ環境を支える新たな仕組みの構築に向けた取り組みを進める。具体的には、子どもたちが自主的・自発的にスポーツに取り組むことができるよう、

- ・スポーツクラブの設置を含めたジュニアスポーツアカデミー構想の検討
- ・地域で部活動を担う人材や受け皿等の課題を整理する実証実験の実施

など、府教委、市町村、スポーツ団体などと連携して取り組む。





課題

- ・持続的に指導者をどう確保していくか
- ・送迎や参加経費など保護者負担をどうするのか
- ・安定的な活動場所をどう確保するのか
- ・生徒のスポーツニーズにどう応えるのか(アーバンスポーツ、パラスポーツ)

具体的な対策

指導者不足対策

- ・教員の勤務先だけでなく、居住地での指導は有効
- ・教員の兼業兼職を認める
- ・複数指導体制の活用
- ・指導者人材バンクなどで指導者確保の仕組みづくり

費用の保護者負担

- ・可能な限り低廉な会費を設定
- ・地域の協力体制の整備や送迎面での配慮
- ・産学官連携や企業連携等の研究

障害者の部活動、地域スポーツへの参加環境

- ・パラスポーツを卒業後も生涯学習・スポーツへつなげる
- ・スクールバスの活用を検討
- ・指導者の育成、人材確保
- [知事部局]初級パラスポーツ指導員の養成研修を開催
- [府教育委員会]京都府障がい者スポーツ指導員の資格取得への支援

学校スポーツ施設の利用

- ・地域クラブへの開放に取り組む
- ・府立学校の施設や指導者などの資源を活用した「開放型地域スポーツクラブ」の設置



歴史に学び未来を創る。 joyo-sakai.com

酒井つねお 主な役職

- ▶ 会派代表幹事
- ▶ 総務警察常任委員会
- ▶ 子育て環境の充実に関する特別委員会
- ▶ 京都府議会運営委員会
- ▶ 京都地方税機構議会
- ▶ 関西広域連合連携協議会
- ▶ 議会改革小委員会
- ▶ 京都府営水道事業経営審議会
- ▶ 京都サンガF.C.を支援する京都府議会議員連盟
- ▶ 宇治茶振興のための議員連盟

プロフィール

昭和36年 12月1日 福岡県で出生  
 昭和59年 同志社大学卒業  
 京都府警採用(H21退職[警部])  
 平成23年～ 京都府議会議員(現4期)



酒井つねお事務所

〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻21-3 堀井ビル2F  
 TEL.0774-57-1700 FAX.0774-57-1701